

国際社会学部—アフリカ地域

アフリカ地域専攻へようこそ！

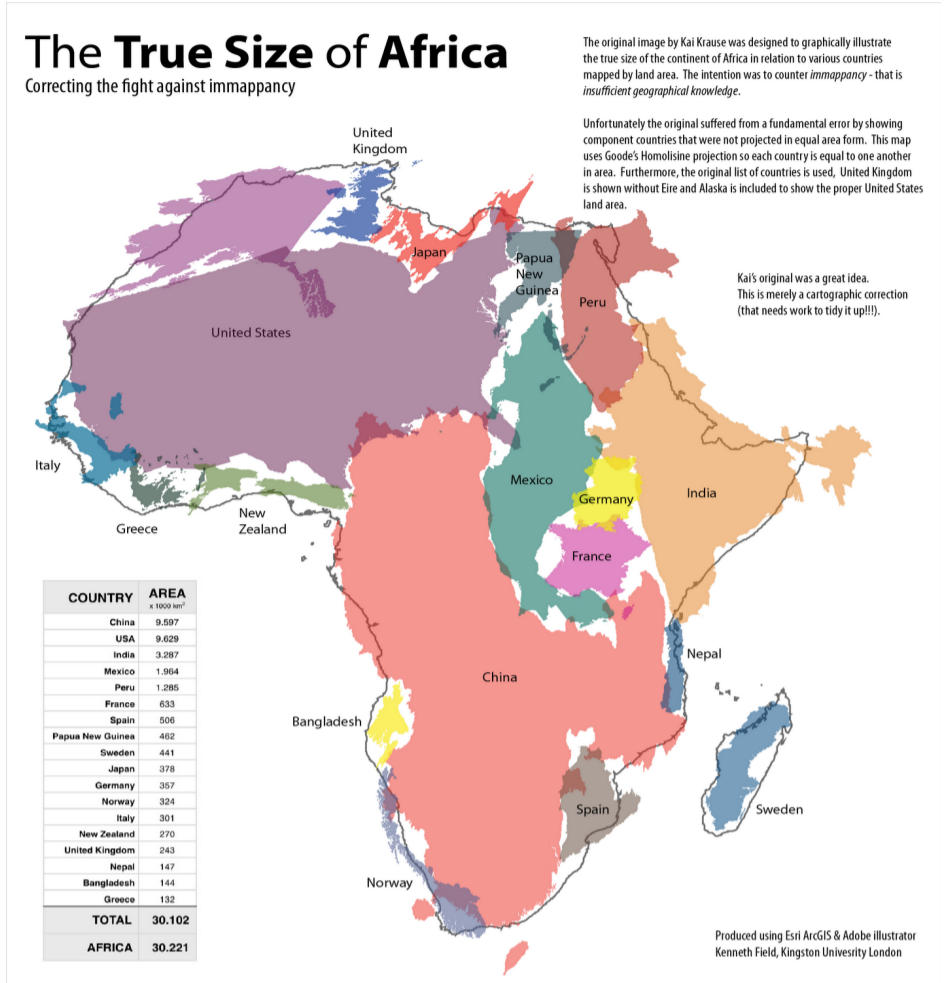
アフリカをひとくくりにするには、あまりにも無謀かもしれません。なにしろ欧州、南北アメリカ、中国などがすっぽり入るほどの面積を有するのです。大陸には54カ国、そのうちサハラ砂漠以南（サブサハラ）には49の国があり、2000を超える言語があるといわれています。沙漠、サバンナ、熱帯雨林などの気候帯が作り出す多様な自然環境からもそのダイナミックな姿がうかがえます。

この専攻では、この巨大な大陸と果敢に向き合い、グローバル化のもと刻一刻と変化する社会の多様な姿を様々な角度から学んでいきます。これまでのアフリカは、紛争や貧困など負のイメージがつきまとい、国際社会からは解決すべき「問題」として認識されてきました。しかし近年、アフリカの位置づけは大きく変わりつつあります。国際社会においてはアフリカ各国が独自の主体的な外交姿勢を打ち出しはじめています。またその成長可能性に注目が集まり、ビジネスの新しいフロンティアとしても認知されつつあります。グローバルな視点とともに、地域研究をとおして細部にある人々の暮らしを丁寧に見れば、一言ではとても表現できない多様な現実が無数にあることに気づくでしょう。私たちは象の体を触って確かめるように、アフリカの現実にも少しでも触れたいと願っています。

【アフリカ地域専攻公式HP】

詳しくはこちらから！アフリカ地域専攻のすべてが分かります。

<https://sites.google.com/view/tufsafrica/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0?authuser=0>



アフリカ地域担当教員

- 大石高典（准教授）（2023年度地域代表）：生態人類学（地域社会研究コース）
- 坂井真紀子（教授）：農村社会学（地域社会研究コース）

アフリカ関連教員

- 真島一郎（教授）：社会人類学、現代思想、西アフリカ民族誌（現代世界論コース）
- 武内進一（教授）：アフリカ研究、国際関係論、国際協力論（国際関係コース）

アフリカ地域専攻で学べること

1・2年

- 地域基礎：地理や歴史を中心としたアフリカ各地域の基礎
 - 言語：英語（主専攻語）＋フランス語／ポルトガル語／アラビア語（選択必修）＋スワヒリ語（推奨）など。
 - * 実践で使える英語を通してアフリカを学びます。
 - * アフリカで使われている主要言語にフォーカス。
 - * 秋学期には南部アフリカの12か国（SADC）の大使リレーレクチャー（英語）あり！
- （南アフリカ、タンザニア、ボツワナ、ザンビア、レソト王国、マダガスカル、ジンバブウェ、アンゴラ、モザンビーク、コンゴ民主共和国、ナミビア、マラウイ）順不同



3・4年

- 専門のテーマ（講義&ゼミ）
- アフリカ X 国際関係、平和と紛争、国際協力、開発、都市と農村、民族、環境、ジェンダー…。 “地域” を横軸に、専門分野を縦軸に、コースとゼミを選んで独自の組み合わせで面白い学びをつくり出そう。

派遣留学先

- ザンビア大学
- ガーナ大学
- ルワンダ人文社会科学大学（PIASS）
- プレトリア大学
- ステレンボッシュ大学
- ヤウンデ第一大学

留学体験記は
こちらから！



学内のアフリカ関連組織

■ アジア・アフリカ言語文化研究所 <http://www.aa.tufs.ac.jp/>

1964年設立。文部科学省に認定された国際的研究拠点として、アジア・アフリカ諸言語の理解と記録、及びイスラームやアジア・アフリカの諸問題の理解と解決に資するわが国の研究を支えてきた長い歴史を持つ研究所です。言語学分野、文化人類学分野、地域研究分野の持続的発展と国際的発信を行っています。



■ 現代アフリカ地域研究センター <http://www.tufs.ac.jp/asc/>

2017年設立。セミナーやシンポジウムを国内外で開催し、その成果を出版しアフリカ研究関連機関に広く発信しています。アフリカ研究者の招へいや留学生の招致、国内外のアフリカ研究機関との連携などを通じて、現代アフリカに関わる研究・教育活動の促進とネットワークの構築を進めています。



■ 世界展開力事業アフリカ <http://www.tufs.ac.jp/iafp/>

本プログラムは、学術交流協定を締結しているアフリカの大学5校（ザンビア大学、ガーナ大学、プレトリア大学、ステレンボッシュ大学、ルワンダ人文社会科学大学・PASS）との交流を通して、本学の長年のアフリカ研究の蓄積を活用しながら、アフリカと日本の様々な学術交流の促進を行っています。文系・理系の枠を超えたカリキュラムを提供し、アフリカでのフィールドワーク、日本およびアフリカでの研修を通じて、イノベーション共創の基盤構築を目指しています。



アフリカの日常

